



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月21日

上場会社名 株式会社 スーパーツール

上場取引所 東

コード番号 5990 URL <http://www.supertool.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 量夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部兼総務部部长 (氏名) 田中 穰

TEL 072-236-5521

四半期報告書提出予定日 2021年1月29日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年3月16日～2020年12月15日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,192	25.3	379	47.9	321	51.0	210	51.7
2020年3月期第3四半期	6,950	28.3	727	6.4	656	6.3	436	3.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 307百万円 (27.5%) 2020年3月期第3四半期 424百万円 (3.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	103.35	
2020年3月期第3四半期	213.41	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	13,398	9,125	68.1
2020年3月期	12,266	9,002	73.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 9,125百万円 2020年3月期 9,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		45.00		45.00	90.00
2021年3月期		30.00			
2021年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年3月16日～2021年3月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	19.7	510	44.9	430	48.2	290	47.7	142.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	2,084,304 株	2020年3月期	2,084,304 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	50,631 株	2020年3月期	35,299 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	2,040,293 株	2020年3月期3Q	2,046,049 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益は大幅な減少が継続するとともに、雇用情勢の弱含みや設備投資にも減少の動きがみられました。一方で、個人消費や生産に持ち直しの動きがみられるなど、一部に改善の兆しもありましたが、再び感染拡大傾向に転じ、景気は厳しい状況で推移いたしました。また、世界経済につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き厳しい状況のなか、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止対策として濃厚接触回避などの取り組みを継続し、事業活動を行ってまいりました。金属製品事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業活動が制限されるなか、効果的なセールスプロモーションにより、積極的に販売拡大に努めるとともにブランドの認知度向上などにも取り組んでまいりました。また、開発型企業として、全く新しいコンセプトの新製品や、既存製品から派生した製品など、多様化する顧客ニーズに対応する製品開発に注力しながら、生産効率向上、コストダウンを目指した設備の導入や加工方法の改善なども行い、収益の安定化に取り組んでまいりました。

一方、環境関連事業につきましては、依然として厳しい事業環境となっておりますが、設備投資案件の受注を軸に、環境関連事業への後押しが期待される脱炭素社会実現に向けた仕組みや、FIT（固定価格買取制度）終了後の事業環境の変化に対応すべく、商材の拡充にも注力し、売上確保に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,192百万円（前年同四半期比1,758百万円減、25.3%減）、営業利益は379百万円（前年同四半期比348百万円減、47.9%減）、経常利益は321百万円（前年同四半期比334百万円減、51.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は210百万円（前年同四半期比225百万円減、51.7%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(金属製品事業)

国内販売において、作業工具の分野では、豊富なラインナップのレンチ類や配管工具類、産業機器の分野では、作業性と安全性を兼ね備えた吊クランプ類、コンパクトで機動性に優れたクレーン類など、多彩な製品群と新製品を軸に工夫を凝らした販促ツールなどによる商品提案や、効果的な販売企画などを行い、売上確保に努めてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、国内経済では厳しい状況が続き、幅広い産業で使用される当社製品において販売が伸び悩みました。

海外市場につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響により営業活動が制限されるなか、当社の主要市場である韓国において、販売子会社が現地法人の強みを活かした営業施策を展開いたしました。また、依然として厳しい受注状況が続いております。また、その他の地域においても安全性と日本製であることをアピールポイントとし、ブランドの認知度とイメージ向上を目指した新たなプロモーション施策の実施や、販売力強化のための組織体制の構築なども行い売上確保に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、販売が伸び悩みました。

これらの結果、当セグメントの売上高は3,385百万円（前年同四半期比533百万円減、13.6%減）、セグメント利益は608百万円（前年同四半期比156百万円減、20.5%減）となりました。

(環境関連事業)

継続する厳しい事業環境に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、設備投資も減少がみられるなか、設置コストや運用面でメリットが多い水上設置型メガソーラーなどの大口の設備投資案件やセカンダリー案件の受注獲得に注力してまいりました。また、FIT終了後を見据え、FITに頼らない「非FIT」の筆頭事業モデルとされる自家消費型太陽光発電の模索や太陽光関連部材のラインナップ拡充など、建設から販売まで幅広く展開し、売上確保に努め、より筋肉質な事業体制を構築すべく取り組んでまいりました。また、売電部門では、大阪府南河内郡河南町及び柏原市に設置しています3カ所の発電所が順調に稼働しており、収益の安定化に寄与しています。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,807百万円（前年同四半期比1,225百万円減、40.4%減）、セグメント利益は76百万円（前年同四半期比192百万円減、71.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比9.2%増の13,398百万円（前連結会計年度は、12,266百万円）となり前連結会計年度末に比べ1,131百万円増加しました。

この主な要因は、流動資産では、前渡金の増加1,244百万円、商品及び製品の減少383百万円、受取手形及び売掛金の減少143百万円等であり、固定資産では、土地の増加411百万円、投資有価証券の増加108百万円等でありま

す。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比30.9%増の4,272百万円（前連結会計年度は、3,263百万円）となり前連結会計年度末に比べ1,008百万円増加しました。

この主な要因は、流動負債では、短期借入金の増加950百万円、未払金の増加115百万円、未払法人税等の減少165百万円、支払手形及び買掛金の減少49百万円等であり、固定負債では、長期借入金の増加270百万円等でありま

す。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比1.4%増の9,125百万円（前連結会計年度は、9,002百万円）となり前連結会計年度末に比べ122百万円増加しました。

この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加210百万円、配当金の支払いによる減少153百万円、その他有価証券評価差額金の増加72百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年7月15日付「2021年3月期第1四半期決算短信[日本基準]（連結）」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月15日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,488,487	1,484,376
受取手形及び売掛金	830,760	687,595
商品及び製品	2,142,792	1,759,180
仕掛品	873,592	864,168
原材料及び貯蔵品	282,737	280,297
前渡金	257,764	1,502,576
未収入金	526,084	524,745
その他	49,027	55,742
流動資産合計	6,451,247	7,158,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	460,331	434,467
機械装置及び運搬具(純額)	872,260	788,304
土地	4,088,246	4,499,357
その他(純額)	49,586	42,332
有形固定資産合計	5,470,425	5,764,461
無形固定資産	12,044	59,689
投資その他の資産		
投資有価証券	239,589	347,704
繰延税金資産	59,167	34,327
その他	34,216	33,499
投資その他の資産合計	332,973	415,531
固定資産合計	5,815,443	6,239,682
資産合計	12,266,690	13,398,363

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月15日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月15日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	483,262	433,400
短期借入金	—	950,000
1年内返済予定の長期借入金	130,700	126,566
未払金	757,043	872,722
未払法人税等	180,799	15,389
前受金	70,235	35,094
賞与引当金	64,340	14,409
その他	69,819	40,336
流動負債合計	1,756,200	2,487,917
固定負債		
長期借入金	292,500	562,570
再評価に係る繰延税金負債	1,022,632	1,022,632
退職給付に係る負債	192,421	198,751
その他	230	824
固定負債合計	1,507,785	1,784,779
負債合計	3,263,985	4,272,697
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,902,597	1,902,597
資本剰余金	839,176	837,206
利益剰余金	3,985,782	4,043,421
自己株式	△84,677	△114,176
株主資本合計	6,642,879	6,669,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,453	147,325
繰延ヘッジ損益	△30,417	△7,197
土地再評価差額金	2,317,100	2,317,100
為替換算調整勘定	△1,310	△611
その他の包括利益累計額合計	2,359,826	2,456,617
純資産合計	9,002,705	9,125,665
負債純資産合計	12,266,690	13,398,363

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月16日 至 2019年12月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月16日 至 2020年12月15日)
売上高	6,950,943	5,192,249
売上原価	5,152,074	3,813,982
売上総利益	1,798,868	1,378,267
販売費及び一般管理費	1,071,725	999,151
営業利益	727,143	379,116
営業外収益		
受取利息	95	28
受取配当金	7,174	5,003
受取補償金	—	909
助成金収入	—	6,489
その他	3,024	2,775
営業外収益合計	10,295	15,205
営業外費用		
支払利息	4,230	5,773
売上割引	75,952	65,018
その他	1,246	1,937
営業外費用合計	81,429	72,729
経常利益	656,008	321,592
特別利益		
固定資産売却益	204	—
特別利益合計	204	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	5,144
特別損失合計	0	5,144
税金等調整前四半期純利益	656,213	316,447
法人税、住民税及び事業税	230,997	125,049
法人税等調整額	△11,439	△19,458
法人税等合計	219,557	105,590
四半期純利益	436,656	210,856
親会社株主に帰属する四半期純利益	436,656	210,856

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月16日 至 2019年12月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月16日 至 2020年12月15日)
四半期純利益	436,656	210,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,438	72,872
繰延ヘッジ損益	△1,103	23,220
為替換算調整勘定	△544	698
その他の包括利益合計	△12,086	96,791
四半期包括利益	424,569	307,647
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	424,569	307,647
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月24日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役等（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く）に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。この処分により自己株式は20,750千円（8,650株）減少いたしました。また、2020年4月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により自己株式は50,074千円（23,900株）増加いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式は114,176千円となりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月16日 至 2019年12月15日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属製品 事業	環境関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,918,252	3,032,690	6,950,943	—	6,950,943
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,918,252	3,032,690	6,950,943	—	6,950,943
セグメント利益	765,379	268,667	1,034,047	△306,904	727,143

(注) 1 セグメント利益の調整額△306,904千円には、セグメント間取引消去2,692千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△309,596千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月16日 至 2020年12月15日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属製品 事業	環境関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,385,161	1,807,088	5,192,249	—	5,192,249
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,385,161	1,807,088	5,192,249	—	5,192,249
セグメント利益	608,777	76,625	685,403	△306,287	379,116

(注) 1 セグメント利益の調整額△306,287千円には、セグメント間取引消去2,716千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△309,003千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。